

吉農建第439号
平成20年10月20日

国土交通省 道路局長殿

奈良県 吉野郡
吉野町長 北岡 篤



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県 吉野町

奈良県南部においては山間地である為、山を縫うように流れる川に沿って道路が整備されており、生活、防災等の全てを担う動脈となっている。しかし、地形が急峻、通行車両が少ない等の理由により片側1車線の道路が大部分を占めており、山肌に張り付くような形で整備されている。そのため、台風等の集中豪雨により道路が崩壊し、長期間に亘り通行止めや片側通行規制が実施される事態が生じる。通行止めや通行規制は救急業務等、住民生活に多大な不安を与えるのみならず、地域経済にも大きな打撃を与えるものである。依って、山間部等の道路整備に当たっては、基幹となる道路と基幹となる道路の補助的な機能を有する道路の二本立てでの整備を検討して頂きたい。

山間部においては、過疎化、高齢化により集落機能が低下してきており、従来、地域活動で維持してきた道路が維持しきれない状況となっていており、替わって行政の役割分担が増加してきている状況にあるが、行政においても財政難でその役割全てを担うことが出来ない状況にある。従来道路管理者が行う役目を担っていた、維持補修事業についても交付金、補助金を活用して行えるよう、柔軟な対応をして頂きたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

奈良県 吉野町

○現状

過疎化や少子高齢化が進む中、行政区域内人口は平成の始めには約13,400人余りであったが、現在は9,600人余りとこの20年間で3割減少している。高齢化率については、平成の始めには18.7%であったものが現在は36.5%へと増加している。町の基幹産業である製材業は林業の構造的不況により低迷し、働く場や利便性の高い生活を求める若者の町外への流失が続いている。また、公共交通である路線バスが平成15年3月に一部廃止され、それを補完するための町営福祉バスを運行している。

○課題

過疎化や高齢化が進行する中、集落機能が低下し、道路を含めた維持補修が集落に置いて実施する事が困難となり、行政の役割が増加している。行政に置いても財政難、人員の削減等維持管理を巡る環境は悪化してきている。公共交通機関に替わる交通システムの確立も行政の課題となってきた。準限界集落に位置づけられる集落においては、道路は集落機能の維持だけでなく、生活、救急、防災の要として欠くことの出来ないものである。これが維持できなくなると、将来的には国土保全や水源涵養といった山間地域が担っている役割にも支障が生じてくる。それらの問題を解決するためには、道路の維持管理財源の確保が絶対に必要である。交通、環境全ての面で喫緊の課題となっている。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

奈良県 吉野町

- ・近隣の市町村の観光地と道路のネットワークで結ばれる観光地
- ・高齢者が安心して暮らせる生活道路が整備された町
- ・災害時の緊急輸送ルート等が確保された安心安全の町
- ・高齢者が容易に外出できる道路や手段が整備された町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

奈良県 吉野町

良好な景観の形成	○代表事例 世界遺産紀伊山地の霊場とその参詣道	○期待する効果や評価等 世界遺産に指定される時点において、景観保持の観点から電線の地中化が求められている。観桜期の交通渋滞の緩和並びに歩行者の安全確保も図られ、道路改良と同等の効果も期待できる。	○その他
地域活力の向上	近隣の市町村の観光拠点を結ぶ道路の整備	本町も含め奈良県南部には観光資源や史跡名勝が点在しているが、それらを結ぶルートは市町村道に委ねる部分が多く、市町村界を超えたネットワークとなり得ていない。基幹的な道路を国道に編入し、整備することで、周年を通じた観光客の誘致や地域への滞在を推し進めることが可能となる。	